

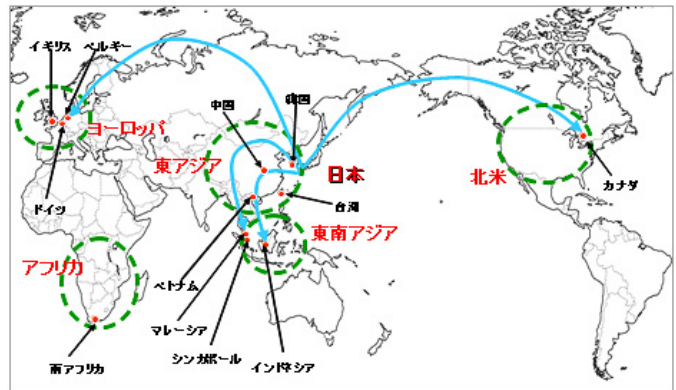
# 水環境材料「クリスタルバイオ」

水産養殖用ろ過材

日本建設技術株式会社 代表取締役 原 裕  
 〒847-1201 佐賀県唐津市北波多徳須恵 1417 番地  
 TEL 0955-64-2525 <http://www.nkg-net.co.jp>

## 1. はじめに

日本建設技術は、ガラス廃材の再資源化を目的として、建設廃材の板ガラスや容器包装の空ビン・車のサイド・リアガラスの透明ガラス廃材を原料として開発した新素材ミラクルソルを水産養殖用のろ過材として「クリスタルバイオ」の商標で海外13ヶ国に輸出を定期的に行っている。2018年までに、2,535m<sup>3</sup>を輸出。



## 2. クリスタルバイオの特徴

### ■優れた硝化作用

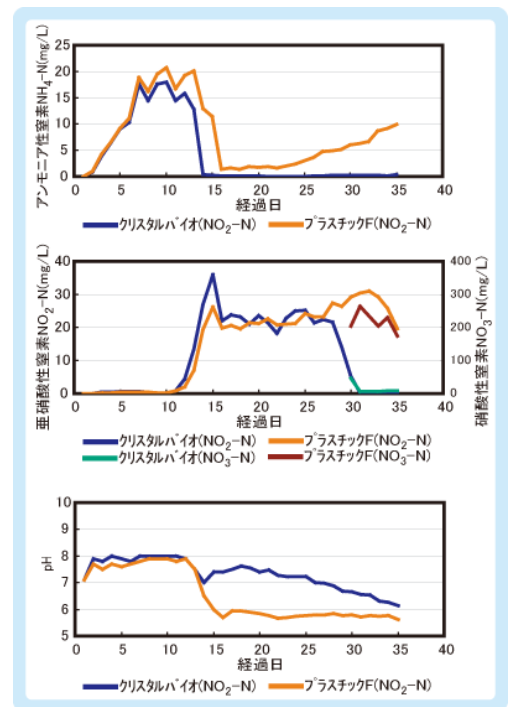
連続多孔質で桁外れの接触表面積（比重0.4で78,000m<sup>2</sup>/m<sup>3</sup>、比重1.2で281,000m<sup>2</sup>/m<sup>3</sup>）を持つため、好気性バクテリアの繁殖が抜群。本品自体が弱アルカリ性で、pH緩衝機能を有するので、硝化によるpHの大幅低下を防ぎ、海水魚と淡水魚の飼育水を弱アルカリ性に保つ。

### ■容易なメンテナンス

粒径が10~50mmと小石状で、軽量であるため、どのようなろ過槽にも対応でき、ろ材の充填や水洗などの作業も容易。

### ■加温の為の燃料費削減

魚にとって良い水質を維持することができるので、新水の注入量が少なくて済み、加温のための燃料費の削減につながる。



## 3. おわりに

クリスタルバイオを始めとした多目的環境資材「ミラクルソル」及び「ミラクルソル工法」は、地球環境へ配慮した環境負荷低減工法として、環境の保護・保全そして創出へと繋がると確信している。



クロマグロ陸上養殖事例

アコヤ貝種苗生産槽事例

国内養鯉場事例

ベルギー錦鯉飼育池事例